

AWS 決定ガイド

# AWS モニタリングおよびオブザーバビリティサービスの選択



# AWS モニタリングおよびオブザーバビリティサービスの選択: AWS 決定ガイド

Copyright © 2026 Amazon Web Services, Inc. and/or its affiliates. All rights reserved.

Amazon の商標およびトレードドレスは Amazon 以外の製品およびサービスに使用することはできません。また、お客様に誤解を与える可能性がある形式で、または Amazon の信用を損なう形式で使用することもできません。Amazon が所有していないその他のすべての商標は Amazon との提携、関連、支援関係の有無にかかわらず、それら該当する所有者の資産です。

# Table of Contents

決定ガイド .....	i
序章 .....	1
を理解する .....	2
考慮する .....	4
選択 .....	8
使用アイテム .....	11
Explore .....	19
ドキュメント履歴 .....	20
.....	xxi

# AWS モニタリングおよびオブザーバビリティサービスの選択

最初のステップを実行する

目的	どの AWS モニタリングおよびオブザーバビリティサービスが組織に最適かを判断するのに役立ちます。
最終更新日	2024-01-12
対象サービス	<ul style="list-style-type: none"><li>• <a href="#">AWS CloudTrail</a></li><li>• <a href="#">Amazon CloudWatch</a></li><li>• <a href="#">Amazon CloudWatch Application Signals</a></li><li>• <a href="#">AWS Config</a></li><li>• <a href="#">AWS Control Tower</a></li><li>• <a href="#">Amazon Managed Grafana</a></li><li>• <a href="#">Amazon Managed Service for Prometheus</a></li><li>• <a href="#">Amazon OpenSearch Service</a></li><li>• <a href="#">AWS Distro for OpenTelemetry</a></li><li>• <a href="#">AWS X-Ray</a></li></ul>

## 序章

モニタリングとオブザーバビリティは、クラウドベースのワークロードとデータの可用性、パフォーマンス、信頼性、セキュリティを確保するための重要なコンポーネントです。

- モニタリングには、メトリクス、ログ、トレースなどのデータの体系的な収集と分析が含まれ、クラウドリソースのヘルスと効率を追跡し、事後対応型のインシデント管理をサポートします。
- オブザーバビリティは、動的でリアルタイムのインサイトを通じてシステムの内部状態を理解することに重点を置いており、プロアクティブな問題の特定と解決を可能にします。

AWS は、モニタリングとオブザーバビリティの両方のためのさまざまなツールとサービスを提供します。データの収集、メトリクスの分析、問題を通知するアラームの作成に使用できます。さらに、問題の根本原因の特定とトラブルシューティングに使用できるログとメトリクスを提供できます。

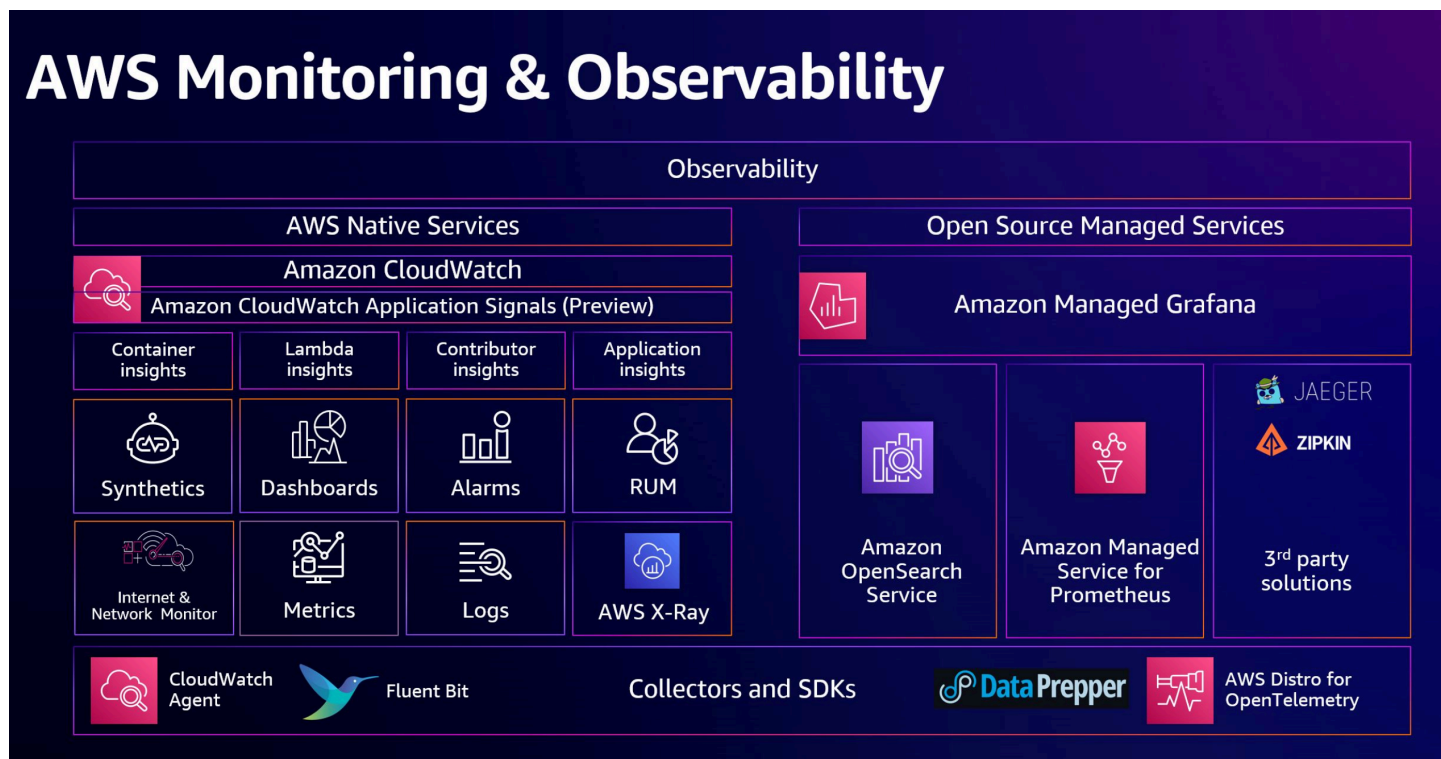
これらのサービスは、120 を超える他の AWS のサービス (Amazon EC2、Amazon EKS、Amazon ECS、Lambda、Amazon S3 を含む) およびパートナーと統合され、AWS ネイティブテレメトリのほぼリアルタイムのフィードを使用するさまざまなサードパーティーのオブザーバビリティおよびクラウド管理ツールと統合されます。

このガイドは、ニーズと組織に最適な AWS モニタリングおよびオブザーバビリティサービスとツールを選択するのに役立ちます。

[re:Invent 2023 プレゼンテーションのこの 4 分間のクリップ](#)では、シニア AWS グローバルスペシャリストの Toshal Dudhwala がオブザーバビリティ戦略を構築する方法の概要を説明します。

## を理解する

ニーズに合った適切な AWS モニタリングツールとオブザーバビリティツールを選択するには、最初に利用可能なオプションの範囲と、メインサービスがどのように連携するかを理解するのに役立ちます。



ログ、メトリクス、トレースの 3 つの主要なデータソースから始めます。これらのソースからのデータは、Amazon CloudWatch AWS X-Ray、または AWS Distro for OpenTelemetry (ADOT) エージェントを使用して使用できます。

以下は、これらの各データ収集ソースを使用できる場合です。

- Amazon CloudWatch を使用して独自のアプリケーションから [カスタムメトリクスを収集](#)し、運用パフォーマンスのモニタリング、問題のトラブルシューティング、傾向の特定を行います。CloudWatch エージェントを使用して、ログ、メトリクス、トレースを収集することもできます。さらに、Fluent D や FluentBit などのオープンソースツールを使用してログを収集し、CloudWatch ログに送信できます。
- AWS X-Ray を使用して、[複数のアプリケーションやシステム間で分散トレース](#)を実行し、システム内のレイテンシーを検出し、改善のターゲットにします。CloudWatch エージェントを使用してトレースを収集し、X-Ray に送信できます。
- AWS Distro for OpenTelemetry を使用してメトリクスとトレースを収集します。

## インストールメンテーション

AWS モニタリングおよびオブザーバビリティサービスで利用できる計測には、AWS ネイティブサービスとオープンソースマネージドサービスの 2 つの主要なカテゴリがあります。

- AWS ネイティブサービスには、Amazon CloudWatch と が含まれます AWS X-Ray。CloudWatch は、[Container Insights](#)、[Lambda Insights](#)、[Contributor Insights](#)、[Application Insights](#) の主要な機能を提供し、インサイトと分析のためにデータをコンテキスト化する方法に貢献します。
- オープンソースマネージドサービスには、Amazon Managed Service for Prometheus (一般的な Prometheus オープンソースのモニタリングおよびアラートソリューションに基づくマネージドモニタリングサービス)、Amazon OpenSearch Service、および AWS Distro for OpenTelemetry (Jaeger および Zipkin Tracing をサポートするだけでなく AWS X-Ray) が含まれます。

## 視覚化と分析

これらの AWS サービスで収集および取り込むデータは、[Amazon CloudWatch Service Map](#)、[AWS X-Ray トレースマップ](#)、Amazon Managed Grafana、[Amazon CloudWatch Logs Insights](#) を使用して視覚化および分析できます。

## その他のサービス

モニタリングとオブザーバビリティにとって重要なその他のサービスは次のとおりです。

- AWS Config は、 のリソース設定の詳細ビューを提供します AWS アカウント。このビューには、リソースとリソースの過去の設定との関係が含まれているため、リソースの関係と設定が時間の経過とともにどのように変化するかを確認できます。[AWS Config ルール](#)を使用している場合、 は必要な設定のリソース設定 AWS Config を評価します。
- AWS CloudTrail は、ユーザー、ロール、または AWS サービスによって実行されたアクションのイベントを記録することで、運用およびリスクの監査、ガバナンス、コンプライアンスを有効にするのに役立ちます。ユーザー、ロール、または AWS のサービスによって実行されたアクションは、イベントとして CloudTrail に記録されます。イベントには AWS マネジメントコンソール、、、 SDKs AWS Command Line Interfaceおよび AWS APIs で実行されたアクションが含まれます。

さらに、さまざまな[機械学習](#)および[分析サービス](#)から選択して、モニタリングおよびオブザーバビリティデータからさらにメリットを得ることができます。

## 考慮する

で適切なモニタリングおよびオブザーバビリティサービスを選択するかどうか AWS は、特定の要件とユースケースによって異なります。決定する際に考慮すべき基準をいくつか示します。

### Monitoring service capabilities

サービスが[メトリクス、ログ、トレースを含む包括的なツールセットを提供しているかどうかを検討してください](#)。メトリクスはシステムパフォーマンスに関する定量的データを提供し、ログは詳細なイベント情報を提供し、トレースによりインフラストラクチャ全体のトランザクションを追跡できます。

また、サービスが多様なデータ型と形式をサポートしているかどうかにも評価します。さらに、異常検出、機械学習主導のインサイト、さまざまなソースからのデータを関連付ける機能などの高度な機能を探します。包括的なソリューションにより、AWS 環境を包括的に可視化し、効率的なトラブルシューティング、パフォーマンスの最適化、プロアクティブな問題解決に役立てることができます。

サービス機能の汎用性と統合性が高ければ高いほど、アプリケーションとインフラストラクチャに関する深いインサイトを得ることができます。サービス機能の詳細については、[AWS 「Management and Governance Cloud Environment Guide \(Well-Architected Framework の一部\)」の「オブザーバビリティ」セクション](#)を参照してください。AWS

## Ease of integration

サービスが既存の AWS インフラストラクチャ、アプリケーション、デプロイプロセスとどのようにシームレスに統合されるかを評価します。

組織が使用する一般的なプログラミング言語、フレームワーク、サードパーティーツールとの互換性を探します。また、統合プロセスを簡素化する SDKs、APIs、プラグインの可用性を評価します。統合を改善すると、アプリケーションに大きなオーバーヘッドを課すことなく、データの収集と分析が容易になります。

さらに、[サービスがデータ取り込みの一般的なプロトコルをサポートしているかどうかを検討](#)してください。より良い統合を提供するサービスは、オンボーディングエクスペリエンスをスムーズにするのに役立ちます。これにより、チームはより迅速にモニタリングを開始し、AWS 環境に関する貴重なインサイトを得ることができます。

## Data retention and storage

データ保持とストレージ機能は、モニタリングサービスとオブザーバビリティサービスを選択する AWS 上で重要な考慮事項です。検討しているサービスについては、履歴データの保存と保持に関するポリシーと、時間の経過とともに増加するデータボリュームを処理するためのスケーラビリティを検討してください。

サービスがメトリクス、ログ、トレースの長期保存をサポートしているかどうかを評価し、遡及分析を実行し、コンプライアンス要件を満たすことができます。また、アーカイブされたデータにアクセスして取得する容易さも考慮してください。

使用するサービス (または サービス) は、意味のある傾向分析のための十分な保持期間を提供することと、ストレージコストを効果的に管理することのバランスを取る必要があります。データ保持ポリシーとストレージポリシーを明確に理解することは、モニタリング設定が運用上のニーズと規制上の義務の両方にどのように合致するかを考慮する際に重要です。

## Scalability

進化するインフラストラクチャや増加するワークロードに合わせて、サービスがどの程度スケールできるかを評価します。スケーラブルなソリューションは、データ量の増加、ユーザーアクティビティ、アプリケーションの複雑さをシームレスに処理する必要があります。

サービスの伸縮性、需要の急増に対応する機能、要件の変化に動的に適応するための自動スケーリング機能をサポートしているかどうかを検討してください。堅牢なスケーラビリティにより、モニタリングシステムの応答性と効率性を維持し、AWS 環境が拡大してもタイムリーなインサイトを提供できます。



スケーラビリティの高いサービスを選択することで、パフォーマンスを損なうことなく、または不要な運用上の課題を発生させることなく、アプリケーションとインフラストラクチャの継続的な成長を自信を持ってサポートできます。

## Alerting and notification

事前定義されたしきい値、異常、または特定のイベントに基づいてアラートを設定する機能など、サービスのアラート機能を評価します。アラート条件を柔軟に設定し、Eメール、SMS、コラボレーションツールとの統合などの通知チャネルを簡単に管理できるようにします。

選択したサービス (または サービス) は、タイムリーで実用的なアラートを提供し、チームが潜在的な問題に迅速に対応できるようにします。エスカレーションポリシーやアラートを確認または抑制する機能などの機能を検討してください。

一般的なインシデント管理プラットフォームとの統合により、インシデント対応ワークフロー全体を強化できます。チームが積極的に問題に対処し、ダウンタイムを最小限に抑え、AWS 環境の継続的な健全性を確保するのに役立つモニタリングサービスを優先します。

## Cost

データ量、ストレージ、その他の機能などの要因を考慮して、各サービスの料金モデルを理解します。検討しているサービスのコスト情報 ([Amazon CloudWatch のこの請求やコスト概要](#)など)を確認します。

料金構造が予算と使用パターンと一致しているかどうかを評価します。一部のサービスはpay-as-you-goモデルを提供し、他のサービスは階層型料金プランまたはサブスクリプションプランを提供する場合があります。データ転送料金や履歴データへのアクセス料金など、すべてのコストの潜在的な影響を考慮してください。

さらに、インフラストラクチャの増加に伴って料金が効率的にスケールされるかどうかを評価します。コストを明確に理解することで、重要な機能を損なうことなくモニタリングソリューションのコスト効率を維持し、運用要件を満たしながら予算を最適化できます AWS。

## Customization and extensibility

サービスがニーズに合わせてダッシュボード、レポート、アラートを調整できるかどうかを評価します。カスタムメトリクス、クエリ、ビジュアライゼーションを柔軟に作成できます。サードパーティーのツールとの統合と一般的な APIs のサポートにより、サービスの拡張性が向上します。モニタリングソリューションがアプリケーションとインフラストラクチャの固有のニーズに適応できるかどうかを評価します。

高度にカスタマイズ可能で拡張可能なサービスにより、チームはモニタリングパラメータを微調整し、進化するユースケースに適応し、既存のワークフローやツールとシームレスに統合できま

す。高度な設定可能性を提供するソリューションに優先順位を付け、特定の AWS 環境と運用設定のモニタリングを最適化できます。

## Security and compliance

サービスが[AWS セキュリティのベストプラクティスをどのように順守](#)し、データの機密性、完全性、可用性を確保するかを評価します。転送中および保管時の暗号化、アクセスコントロール、安全な認証メカニズムなどの機能を確認します。サービスがお客様の業界に適用される関連規制や標準への準拠をサポートしているかどうかを評価します。

監査証跡機能とコンプライアンスレポートを生成する機能を探します。目標は、モニタリングプラクティスを使用して規制要件に沿った機密データを保護することです。

堅牢なセキュリティ体制を提供するサービスに優先順位を付け、アプリケーションとインフラストラクチャに関するインサイトを得ながら、組織が安全で準拠した AWS 環境を維持できるようにします。

## Machine learning and analytics

サービスが機械学習 (ML) を使用して高度なインサイト、異常検出、予測分析を提供しているかどうかを評価します。データ内のパターン、傾向、潜在的な問題を自動的に特定する機能を探します。

堅牢な機械学習コンポーネントを使用すると、異常検出の精度が向上し、誤検出が減少し、モニタリングシステムの全体的な有効性が向上します。さらに、根本原因分析や傾向予測など、提供される分析の深さを考慮してください。強力な機械学習と分析機能を備えたサービスにより、チームは積極的に問題に対処し、パフォーマンスを最適化し、AWS アプリケーションとインフラストラクチャの動作に関するより深い洞察を得ることができます。

## Global reach

グローバルリーチは、特にインフラストラクチャが複数のリージョンに分散されている場合、AWS モニタリングおよびオブザーバビリティサービスにとって重要な基準です。モニタリングサービスが、さまざまな リソースのパフォーマンスと状態を可視化しているかどうかを評価します AWS リージョン。

グローバルインフラストラクチャを包括的に理解できるように、さまざまな地理的場所からのデータを集約して分析する能力を検討してください。一元管理とモニタリングをサポートする機能を探し、グローバル規模で運用を効率的に監視できるようにします。

強力なグローバルリーチを持つサービスは、地理的境界に関係なく、一貫したモニタリングプラクティスを維持し、問題のトラブルシューティングを行い、AWS デプロイの全領域にわたってパフォーマンスをシームレスに最適化するのに役立ちます。この機能は、地理的に分散されたイ

インフラストラクチャまたはマルチクラウドインフラストラクチャを持つ組織にとって特に重要です。

## 選択

モニタリングおよびオブザーバビリティオプションを評価する基準がわかったので、組織の要件に適した AWS モニタリングおよびオブザーバビリティサービスを選択する準備が整いました。

次の表は、どのサービスがどの状況に最適化されているかを示しています。テーブルを使用して、組織やユースケースに最適なサービスを決定できます。

ユースケース	何に最適化されていますか？	モニタリングおよびオブザーバビリティサービス
Monitoring and alerting	これらのサービスは、リアルタイムの可視性、プロアクティブな問題検出、リソースの最適化、効率的なインシデント対応を提供するように最適化されており、アプリケーションとインフラストラクチャの全体的なヘルスに貢献します。	<a href="#">Amazon CloudWatch</a> <a href="#">Amazon CloudWatch Logs</a> <a href="#">Amazon EventBridge</a>
アプリケーションパフォーマンスのモニタリング	これらのサービスは、アプリケーションの動作に関する包括的なインサイトを提供し、パフォーマンスのボトルネックを特定して解決するためのツールを提供し、効率的なトラブルシューティングを支援し、分散アプリケーションとウェブアプリケーション全体で最新のユーザーエクスペリエンスを提供するのに役立ちます。	<a href="#">Amazon CloudWatch Application Signals</a> <a href="#">Amazon Managed Service for Prometheus</a> <a href="#">AWS X-Ray</a> <a href="#">Amazon CloudWatch Synthetics</a>

ユースケース	何に最適化されていますか？	モニタリングおよびオブザーバビリティサービス
Infrastructure observability	これらのサービスでは、クラウドリソースを包括的に把握できるため、リソースの使用率、パフォーマンスの最適化、コスト効率について、より多くの情報に基づいた意思決定を行うことができます。	<a href="#">Amazon CloudWatch Metrics</a> <a href="#">Amazon CloudWatch Container Insights</a>
ログ記録と分析	これらのサービスは、ログデータの効率的な管理と分析、トラブルシューティング、異常の検出、セキュリティのサポート、コンプライアンス要件を満たすこと、アプリケーションとインフラストラクチャに関する実用的なインサイトの取得に役立ちます。	<a href="#">Amazon Cloudwatch Logs Insights</a> <a href="#">Amazon CloudWatch Logs の異常検出</a> <a href="#">Amazon Managed Grafana</a> <a href="#">Amazon OpenSearch Service</a> <a href="#">Amazon Kinesis Data Streams</a>
Security and compliance monitoring	堅牢なセキュリティフレームワークを提供するために最適化され、プロアクティブな脅威検出、継続的なモニタリング、コンプライアンス追跡、監査機能が可能になり、AWS リソースを保護し、安全で準拠した環境を維持できます。	<a href="#">Amazon GuardDuty</a> <a href="#">AWS Config</a> <a href="#">AWS CloudTrail</a>

ユースケース	何に最適化されていますか？	モニタリングおよびオブザーバビリティサービス
ネットワークモニタリング	これらのサービスは、ネットワークトラフィックの可視性を提供し、脅威を検出して防止することでセキュリティを強化し、効率的なネットワークトラフィック管理を可能にし、インシデント対応アクティビティをサポートします。	<a href="#">Amazon CloudWatch Network Monitor</a> <a href="#">Amazon CloudWatch Internet Monitor</a> <a href="#">Amazon VPC フローログ</a> <a href="#">AWS Network Firewall</a>
Distributed tracing	これらのサービスは、分散アプリケーション内のインタラクションと依存関係を包括的に表示します。これにより、パフォーマンスのボトルネックを診断し、アプリケーションのパフォーマンスを最適化し、アプリケーションのさまざまな部分が通信およびやり取りする方法に関するインサイトを提供することで、複雑なシステムのスムーズな機能をサポートできます。	<a href="#">AWS オープンテレメトリー用ディストロ</a> <a href="#">AWS X-Ray</a> <a href="#">Amazon CloudWatch Application Signals (プレビュー)</a>
ハイブリッドおよびマルチクラウドのオブザーバビリティ	信頼性の高い運用を維持し、顧客に最新のデジタルエクスペリエンスを提供し、サービスレベルの目標とパフォーマンスコミットメントを達成するための支援を得ます。	<a href="#">Amazon CloudWatch (ハイブリッドおよびマルチクラウドのサポート)</a>

# 使用アイテム

これで、各 AWS モニタリングおよびオブザーバビリティサービス (およびサポート AWS ツールとサービス) の動作と、どちらが適切かを明確に理解できたはずです。

を使用して、使用可能な各 AWS オブザーバビリティサービスの詳細について調べる方法を検討するために、各サービスの仕組みを調べるためのパスを用意しました。次のセクションでは、詳細なドキュメント、実践的なチュートリアル、開始するためのリソースへのリンクを提供します。

## Amazon CloudWatch

- Amazon CloudWatch の開始方法

Amazon CloudWatch を使用して、AWS リソースと AWS で実行しているアプリケーションをリアルタイムでモニタリングします。CloudWatch を使用してメトリクスを収集および追跡できます。メトリクスとは、リソースやアプリケーションについて測定できる変数です。

### [ガイドを見る](#)

- Amazon CloudWatch メトリクスの開始方法

このガイドでは、基本的なモニタリングと詳細なモニタリング、メトリクスのグラフ化方法、CloudWatch 異常検出の使用方法について説明します。

### [ガイドを見る](#)

- Amazon EKS と Kubernetes で Container Insights をセットアップする

EKS クラスターで Amazon CloudWatch Observability ESK アドオンと ADTO を設定して、メトリクスを CloudWatch に送信します。また、CloudWatch Logs にログを送信するように Fluent Bit または Fluentd を設定する方法についても説明します。

### [ガイドを見る](#)

- Amazon CloudWatch Application Insights の開始方法

コンソールを使用して CloudWatch Application Insights がモニタリング用にアプリケーションを管理できるようにする方法について説明します。

### [ガイドを見る](#)

- Container Insights の使用

CloudWatch Container Insights がコンテナ化されたアプリケーションとマイクロサービスからメトリクスとログを収集、集約、要約する方法について説明します。

### [ガイドを見る](#)

- Amazon ECS での Container Insights の設定

クラスターとサービスレベルのメトリクスの設定、EC2 インスタンスレベルのメトリクスを収集するための ADOT のデプロイ、CloudWatch Logs にログを送信するように FireLens を設定する方法について説明します。

### [ガイドを見る](#)

## Amazon CloudWatch Application Insights

- Amazon CloudWatch Application Signals の開始方法

このガイドでは、でアプリケーションを自動的に計測して AWS 、現在のアプリケーションの状態をモニタリングし、ビジネス目標に照らして長期的なアプリケーションパフォーマンスを追跡する方法について説明します。

### [ガイドを見る](#)

- アプリケーションの自動計測のための Amazon CloudWatch Application Signals

このブログ記事では、EKS クラスターのテレメトリを収集する方法を示す、Amazon CloudWatch Application Signals AWS マネジメントコンソール 用の詳細なウォークスルーを提供します。

### [ブログ記事を読む](#)

- Amazon CloudWatch Application Signals で SLOs を使用してアプリケーションのヘルスをモニタリングする方法

このブログ記事では、Amazon CloudWatch Application シグナルを使用してでアプリケーションを自動的に計測および運用 AWS し、最も重要な目標に照らしてアプリケーションのパフォーマンスを追跡する方法を示します。

### [ブログ記事を読む](#)



## Amazon CloudWatch Lambda Insights

- CloudWatch Lambda Insights の紹介

Lambda Insights を使用していくつかの「Hello World」Lambda 関数を作成し、モニタリングする方法について説明します。を使用してアーキテクチャを AWS CDK デプロイします。

### [ブログを読む](#)

- Amazon CloudWatch Lambda Insights を使用した運用の可視性の向上

Lambda Insights を使用して、シンプルで便利なオペレーション監視を提供し、AWS Lambda 関数の動作を可視化する方法について説明します。

### [ブログを読む](#)

## Amazon CloudWatch Logs

- Amazon CloudWatch Logs の開始方法

統合 CloudWatch エージェントをインストールする方法と、を使用してメトリクスコレクションを設定する方法について説明します CloudFormation。

### [ガイドを読む](#)

- Analyzing Log Data with CloudWatch Logs Insights

このガイドでは、Logs Insights クエリの開始方法、 のログデータをグラフで視覚化する方法、ダッシュボードにクエリを追加する方法について説明します。

### [ガイドの使用を開始する](#)

- Amazon CloudWatch Logs Insights – 高速でインタラクティブなログ分析

Logs Insights を使用して、 によって作成されたすべてのさまざまなログに存在するデータポイント、パターン、傾向、インサイトを活用して AWS のサービス、アプリケーションと AWS リソースの動作を理解し、改善の余地を特定し、運用上の問題に対処します。

### [ブログ記事を読む](#)

## Amazon CloudWatch Synthetics

- 模擬モニタリングの使用



このガイドでは、Canary を作成する方法、スケジュールに従って実行される設定可能なスクリプト、Canary スクリプトのサンプルコードについて説明します。

### [ガイドを見る](#)

- Amazon CloudWatch Synthetics と を使用したユーザーワークフローエクスペリエンスの安全なモニタリング AWS Secrets Manager

Amazon CloudWatch Synthetics を使用して合成モニタリングソリューションを作成、デプロイ、モニタリングする方法。

### [ブログ記事を読む](#)

## Amazon EventBridge

- Amazon EventBridge の開始

イベントをターゲットにルーティングするための基本ルールを作成する方法について説明します。

### [ガイドを見る](#)

- Amazon EventBridge イベントのアーカイブと再生

Lambda コンソールを使用して、EventBridge ルールのターゲットとして使用する関数を作成します。

### [ガイドを見る](#)

- EventBridge を使用して Amazon EC2 インスタンスの状態をログに記録する

Amazon EC2 インスタンスの状態変更をログに記録する AWS Lambda 関数を作成します。新しい EC2 インスタンスの起動をログに記録します。

### [チュートリアルを使用する](#)

- Amazon EventBridge を使用したイベント駆動型アプリケーションの構築

(AWS SAM) CLI を使用して AWS Serverless Application Model 、 およびイベント駆動アプリケーションを構築およびデプロイする方法について説明します。

### [ブログを読む](#)

## AWS CloudTrail

- の開始方法 AWS CloudTrail

AWS CloudTrail は、 の運用およびリスク監査、ガバナンス、コンプライアンスを有効にする AWS のサービス のに役立つ です AWS アカウント。これを開始する方法は次のとおりです。

### [ガイドを見る](#)

- AWS アカウント アクティビティを確認する

CloudTrail をサポートする AWS アカウント サービスの で AWS API アクティビティを確認する方法について説明します。

### [チュートリアルを使用する](#)

- 証跡の作成

データや Insights イベントを含むすべてのリージョンで AWS API アクティビティをログに記録する証跡を作成する方法について説明します。

### [チュートリアルを使用する](#)

- AWS CloudTrail ログモニタリングワークショップ

CloudTrail ログを CloudWatch に統合し、CloudWatch Log Insights、CloudWatch メトリクスフィルター、CloudWatch メトリクスアラーム、CloudWatch ダッシュボードなどの機能を使用する方法について説明します。

### [ワークショップを使用する](#)

- AWS CloudTrail ベストプラクティス

CloudTrail を使用して組織全体の監査を有効にするためのベストプラクティス。

### [ブログを読む](#)

## AWS Config

- の開始方法 AWS Config

AWS Config は、 内の AWS リソースの設定の詳細ビューを提供します AWS アカウント。ここでは、使用を開始する方法について説明します。

### [ガイドを見る](#)

- のセットアップ AWS Config (コンソール)

AWS アカウント を使用して AWS Config で をセットアップする方法について説明します  
AWS マネジメントコンソール。

### [ガイドを見る](#)

- AWS Config を使用した のセットアップ AWS CLI

AWS アカウント を使用して AWS Config で をセットアップする方法について説明します  
AWS CLI。

### [ガイドを見る](#)

## Amazon Managed Grafana

- Amazon Managed Grafana の開始方法

Amazon Managed Grafana の使用を開始し、最初のワークスペースを作成してから、そのワークスペースの Grafana コンソールに接続する方法について説明します。

### [ガイドを見る](#)

- Amazon Managed Grafana - 開始方法

Amazon Managed Service for Prometheus と統合する方法と、カスタムダッシュボードを作成する方法について説明します。

### [ブログを読む](#)

- Amazon Managed Grafana を使用して AWS コストと使用状況を視覚化し、インサイトを得る

Amazon Managed Grafana を使用して AWS コストと使用状況データを視覚化および分析する方法について説明します。

### [ブログを読む](#)

## Amazon Managed Service for Prometheus

- Amazon Managed Service for Prometheus の開始方法

Amazon Managed Service for Prometheus ワークスペースを作成し、それらのワークスペースへの Prometheus メトリクスの取り込みを設定し、それらのメトリクスをクエリします。

### [ガイドを見る](#)

- コンテナインサイトの Prometheus メトリクスのモニタリング

CloudWatch Container Insights を使用して、コンテナ化されたワークロードからの Prometheus メトリクスの検出を自動化する方法について説明します。

### [ガイドを見る](#)

- Amazon Managed Service for Prometheus FAQs

Amazon Managed Service for Prometheus に関するよくある質問。

### [FAQsを読む](#)

## Amazon OpenSearch Service

- Amazon OpenSearch Service の開始方法

Amazon OpenSearch Service を使用して、テストドメインを作成および設定します。OpenSearch Service ドメインは、OpenSearch クラスターと同義です。

### [ガイドを見る](#)

- Amazon OpenSearch Serverless の開始方法

このチュートリアルでは、Amazon OpenSearch Serverless 検索コレクションをすばやく起動して実行するための基本的な手順について説明します。

### [チュートリアルを使用する](#)

- Amazon OpenSearch Service でのドキュメントの作成と検索

Amazon OpenSearch Service でドキュメントを作成して検索する方法について説明します。

### [チュートリアルを使用する](#)

- Amazon OpenSearch Ingestion の開始方法

Amazon OpenSearch Ingestion を使用して、ドメインとコレクションにデータを取り込む方法について説明します。

## [ガイドを見る](#)

- Amazon OpenSearch Service ワークショップの SIEM

Amazon OpenSearch Service でセキュリティログ分析プラットフォームを構築し、ログの取り込み、分析、ダッシュボードのためのコスト効率の高いソリューションの構築を開始します。

## [ワークショップを使用する](#)

- Amazon OpenSearch Service でのドキュメントの作成と検索

Amazon OpenSearch Service でドキュメントを作成して検索する方法について説明します。

## [チュートリアルを使用する](#)

### AWS Distro for OpenTelemetry

- AWS Distro for OpenTelemetry (ADOT) Collector の開始方法

ADOT コレクションをローカルで構築する手順について説明します。

## [ガイドを見る](#)

- AWS Distro for OpenTelemetry JavaScript

JavaScript アプリケーションを計測し、関連メトリクスをさまざまな AWS モニタリングソリューションに送信する方法について説明します。

## [ガイドを見る](#)

- AWS Distro for OpenTelemetry Python

このガイドでは、Python アプリケーションを計測し、関連メトリクスをさまざまな AWS モニタリングソリューションに送信する方法を示します。

## [ガイドを見る](#)

### AWS X-Ray

- の開始方法 AWS X-Ray

このガイドでは、サンプルアプリケーションを起動する手順を説明します。次に、アプリケーションを計測し、X-Ray と統合された他の のサービスを調べる方法について説明します。

### [ガイドを見る](#)

- 1 つのオブザーバビリティワークショップ

このワークショップでは、AWS X-Ray や ADOT など、モニタリングとオブザーバビリティのためのさまざまなツール AWS オファァの実践的な体験を提供します。

### [ワークショップを使用する](#)

- を使用したアプリケーションのログ記録とモニタリング AWS X-Ray

AWS X-Ray がアプリケーションが処理するリクエストに関するデータを収集する方法と、そのデータを表示、フィルタリング、インサイトを取得して、問題と最適化の機会を特定する方法について説明します。

### [ガイドを見る](#)

## Explore

- ソリューション

モニタリングとオブザーバビリティの実装に役立つソリューションをご覧ください AWS。

### [ソリューションを調べる](#)

- ホワイトペーパー

開始方法、ベストプラクティス、モニタリングとオブザーバビリティのオプションを理解するのに役立つホワイトペーパーをご覧ください。

### [ホワイトペーパーを見る](#)

- 動画、パターン、ガイダンス

モニタリングおよびオブザーバビリティサービスの一般的なユースケースをカバーする追加のアーキテクチャガイダンスについて説明します。

### [追加のアセットを調べる](#)

## ドキュメント履歴

次の表に、この決定ガイドの重要な変更点を示します。このガイドの更新に関する通知については、RSS フィードをサブスクライブできます。

変更	説明	日付
<a href="#">初版発行</a>	ガイドが最初に公開されました。	2024-01-12

翻訳は機械翻訳により提供されています。提供された翻訳内容と英語版の間で齟齬、不一致または矛盾がある場合、英語版が優先します。